

学校支援地域本部事業訪問

本宮市訪問【和田小学校】

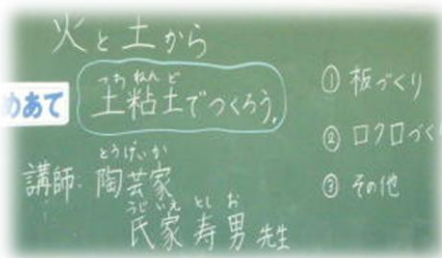
訪問日：平成24年9月26日（水）

場所：和田小学校 図工室

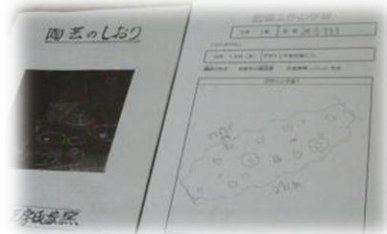
内容：「火と土から」（陶芸教室）（5年 図工科）

今回の授業では、学習支援ボランティアとして陶芸工房 氏家窯の陶芸家 氏家寿男さんをお迎えし、5年生図工の授業で「陶芸教室」の授業を行いました。

実際の体験活動の様子



氏家さんは、今回の授業を迎える1週間前にも学校を訪れ、「陶芸のしおり」を利用して、子どもたちに丁寧に陶芸の仕方を教えました。子どもたちはそれぞれイメージをふくらませながら授業を迎えました。



ロクロを使っての陶芸です。氏家さん：「ロクロを回してつくるのは、むずかしいように見えますが、コツさえ習得すれば子どもでも大丈夫です。」



氏家さんによると陶芸にはいろいろな方法があるそうです。「板づくり」もその一つです。皿を作るのに適した方法です。子どもたちは、「板づくり」と「ロクロづくり」の2つに挑戦しました。



完成した作品です。どの子も個性あふれる作品を作り上げることができました。作品はこれから乾燥させ、釉薬を塗り、氏家さんの窯で焼き上げます。

5年生の図工は、教頭先生が担当しています。これからの活動について教頭先生に聞いてみると、「完成した皿やカップを実際に使ってみる機会として、家庭科の料理の授業に今回の皿やカップを使った盛り付けを考えております。また、その際に氏家さんを招待して、完成の喜びをみんなで味わいたいと考えております。」とおっしゃっていました。陶芸家 氏家寿男さんと子どもたちとの交流がさらに深まる様子が目に見えるようです。

今回の授業が実施されるまでの経緯を聞いてみました。

今回の授業（陶芸教室）が実施されるまでの経緯について学校支援本部事業を担当している本宮市生涯学習センターの国分さんにお聞きしました。

- 年度当初につくられた学校支援ボランティア要請年間計画に基づき、支援を実施した内容です。
- 7月18日に和田小学校の学校支援本部事業担当（教務主任）から生涯学習センターへ「コーディネート依頼受付票」がFAXで提出されたことにより、正式な依頼としてコーディネートを開始しました。（本宮市では、ボランティアを派遣する場合、学校からこの「コーディネート依頼受付票」1枚提出するだけでコーディネートがスタートします。講師派遣申請といった煩雑な手続きなどはいらな
いのです。学校側のボランティア依頼の簡略化に努めています。）
- 氏家さんによる陶芸教室は昨年度も実施していることから、氏家さんへの連絡、日程調整などはスムーズにいきました。学校側との打合せも担当者・授業者とスムーズに行うことができました。（ボランティアさんも学校も学校支援本部の制度をよく理解しています。）



陶芸家 氏家寿男さんの作品



昨年度の児童の作品

和田小学校の校長先生からお話を聞いてみました。

授業後に和田小学校の相楽正弘校長先生に学校支援本部についてお話を聞いてみました。

- 和田小学校では、学校経営ビジョンの柱の一つとして、「地域との積極的な連携」を掲げています。学校支援地域本部はまさに、地域との連携を図るための手段となっています。
- 学校支援地域本部事業については、職員会等を通じて先生方の理解を図っております。先生方の意識が変わってきています。
- 学校側の学校支援本部担当は教務主任が担当しており、積極的に地域コーディネーターとの連携を図っています。
- 子どもたちと地域とのふれあいを作ることで、将来子どもたちが大きく成長したときに必ず地域に恩返しをしたいという意識になるのではないかと考えています。
- また、キャリア教育の推進を図る意味でも積極的に進めていきたいと考えています。

本宮市のコーディネーターさんとの懇談

場 所：本宮市中央公民館 会議室 日 時：9月26日（水）10：00～12：00

参加者：本宮市生涯学習センター事務局 国分さん

本宮一中学校区担当地域コーディネーター 杉山さん

本宮二中学校区担当地域コーディネーター 鈴木さん

白 沢中学校区担当地域コーディネーター 村田さん

本宮地区コーディネーター 伊藤さん

白沢地区コーディネーター 橘 さん

県北教育事務所社会教育主事 佐藤 亮治

本宮市では学校支援地域本部が中学校区に設置されており、それぞれにコーディネーターを配置し学校とボランティアのコーディネートを行っています。そして、月に1回程度はみなさん集まって打合せを行っています。和気あいあいとした雰囲気の中で情報交換を行っています。コーディネーターとしての喜び、悩みを共有しています。

白沢地区コーディネーター橘 さん

白沢地区は、地域のつながりが強い地区であることから協力をお願いすると、快く引き受けてくれます。地域のつながりをうまく利用しながらコーディネートしていくことも大切ですね。

本宮地区コーディネーター 伊藤さん

コーディネーターが5人もいることは、とても心強いです。そして、コーディネーター同士の喜びや悩みを共有できる、このような場も大切ですね。この体制をぜひこれからも維持していきたいです。

白沢中学校区担当地域コーディネーター 村田さん

ボランティアさんが気持ちよく活動していただくことが大切です。そのため、学校とボランティアさんをうまく結びつけたいですね。



本宮一中学校区担当地域コーディネーター 杉山さん

今年からコーディネーターをやっています。大変ですが笑顔でがんばりたいと思っています。

本宮市生涯学習センター事務局 国分さん

今年度から、中学校区それぞれに専属でコーディネーターを配置したのはいいけど、責任が重くなったようで大変かましません、がんばっていきましょう！

本宮二中学校区担当地域コーディネーター 鈴木さん

学校と本部との温度差を感じることがあります。できるだけ要望に応えられるようボランティアさんを見つけお願いしますので、有効に活用していただきたいです！

本宮市の学校支援本部事業は、平成20年度からスタートしており、今年度で4年目を迎えます。平成23年度は、ボランティア活動実績総数248件、参加ボランティア総数（延べ）720人という実績を残しています。しかしながら、コーディネーターの影の活躍はなかなか表に現れないのが現状です。間違いなくコーディネーターの力が数多くの実績を生んでいます。

全国では、学校支援地域本部が3,000以上を数えます。福島県では、平成24年度は13市町村です。県北地区では、本宮市の他に桑折町・大玉村で実施しています。県北地区の3つの本部事業は、いずれも質の高い、そして、きめの細かい実践を積み上げています。